
Haben gut traum ~ **良い夢を** ~

竜藤 侑乃

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

H a b e n g u t t r a u m 〈良い夢を〉

【Nコード】

N 4 7 6 8 Z

【作者名】

竜藤 侑乃

【あらすじ】

謎の研究所を脱出した少年は、とある街で1人の少女と出会う。共に暮らしていく内に、2人の人生は、徐々に、徐々に、方向を変えていく (重複掲載予定)

”彼”（前書き）

今回は、戦闘シーンはありませんが、流血表現や、死などの表現を用いている部分があります。ご注意ください。

”彼”

ある美しい三日月の夜のことだった。

ザッ。

既に日も沈み、星々が瞬き始め、人影のまばらになった夜の街に、一人の少年が立った。

綺麗な黒髪と、ルビーのように赤い瞳を持った、美しい少年だった。いや、美しかったであろう少年、と言った方が正しいかもしれない。その白くてなめらかな頬は土や血で薄く汚れ、黒ずくめの「彼」の服は汚れているに加えて所々破れていて、下から覗いた皮膚には血が滲んでいた。

同じ夜の街で歩く他のどの人影とも違うオーラを発する「彼」の胸で、「A-724」と書かれた札が揺れた。

「彼」自身、その札に気が付いたようで、

「そつだ…これはもう、必要ないんだ」

そう呟くと、その札を引きちぎり地面に捨てた。

そして、夜の澄んだ空気を深々と吸い込む。

それからほつと息をつき、呟いた。

「やつと…やつと、自由になった…」

「彼」は、先程引きちぎったばかりの札に目を送った。

そして、その札の取得源を思い出し、思わず顔をしかめる。

「彼」にとって「それ」には、苦い思い出しかなかった。

「それ」は、家族を奪い、自由を奪い、人権を奪った。

「それ」に定住しても、「彼」にはその雰囲気慣れることがどうしても出来なかった。

確かにそこでは、学校にも通い、一見ごく普通の生活を送っているかのように見えた。

だが、そこで働く人々は、「彼」のことを研究対象としてしか見てはくれなかった。

勉強も、運動も、治療も、全て研究の為だった。

「彼」は確かに、大切に、丁寧に扱われた。

けれどそれは研究の為であり、研究に差し支えがあるようであれば、

「彼」に拒否権は与えられなかった。

「彼」には、そこにいる人々から、愛情やその他の感情を何一つ感じる事が出来なかった。

そんな人々に囲まれる生活は息苦しくて、我慢も限界に達した。だから逃げた。

勿論それだけが理由では無い。直接的な理由がそれというだけだ。だがもう、そんなことはどうでもいい気分になっていた。

あそこから逃げ出したのだから。

「彼」は嬉しくて堪らなかった。勿論「彼」は、住む家は勿論、たった今食べる物さえ持っていなかった。だが、例え死ぬことになるうとも、この世に未練は無い。むしろあんな所で一生を閉じる方が、死んでも死にきれなかっただろう。だから「彼」は、逃げ出したことに喜びしか感じていなかった。

ザッ。

「彼」はまた歩き出した。

死を迎える場になるであろうその街を。

”彼”（後書き）

はじめまして、侑乃といます。

さて、第一話というか、第一話の前半というか…を上げさせていた
できました。なので今回は比較的短いですね。長すぎるのは読者様
が疲れるから減らして、切りも良くして…と減らしてみたらこうな
りました。も、もちろん続きます！

このサイト初心者で、いまいち使い方が分からないんですが…精進
しますね。

なので温かく見守ってあげてください…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4768z/>

Haben gut traum ~ 良い夢を ~

2011年12月16日02時47分発行